

第19回松山救急医療懇話会

平成29年8月

謹啓

皆様におかれましては、益々御清祥のことと拝察いたします。

さて、この度「第19回 松山救急医療懇話会」を開催することとなりました。この会は、中予地域の2次救急医療輪番制の維持・改善を目的に立ち上げられ、消防や行政を含めた多職種間の情報共有の会と今回の様な最新の知識を得る勉強会と、年2回行われています。今回は、特に凝固線溶障害の新規診断基準に関して、その作成者の一人である三重大学医学系研究科検査医学の和田英夫先生に、お越し頂き御講演を賜ります。また各基幹病院からの御発表もありますので、皆様におかれましては、御多忙とは存じますが、多数お集り頂き、勉強の場として御利用頂ければ幸甚に存じます。

なお、当日は松山市民病院の輪番日となっております。何卒ご理解、ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

代表世話人 愛媛大学大学院 救急医学 相引眞幸

日時：平成29年8月30日（水） 18:30～20:15
会場：ひめぎんホール（愛媛県民文化会館） 3階「第6会議室」
松山市道後町2丁目5番1号 TEL 089-923-5111
参加費：1,000円（医師のみ）

《プログラム》

《製品紹介》（18:30～18:45） 「ノイアート静注用」
一般社団法人 日本血液製剤機構 橋本和政

《一般講演》（18:45～19:15）

座長 愛媛県立中央病院 救急科 主任部長 濱見原 先生

①『閉塞性大腸癌に対するイレウス管により消化管穿孔を来し敗血症性DICに至った1例』

愛媛大学医学部附属病院 救急科助教 松本紘典 先生

②『敗血症性DICを合併した急性胆嚢炎の1例』

松山赤十字病院 臨床研修センター 竹内佳子 先生

《特別講演》（19:15～20:15）

座長 愛媛大学大学院医学系研究科 救急医学 教授 相引眞幸 先生

『新しいDIC診断基準とアンチトロンビン』

三重大学医学部附属病院 検査医学分野

病院教授 和田英夫 先生

*講演会終了後、ささやかではございますが、意見交換の場をご用意させて頂いております。

～お願い～ マイカーでご来場の先生方は、意見交換会でのアルコールはご遠慮願います。

共催：松山救急医療懇話会；一般社団法人 日本血液製剤機構